



## 園長コーナー

先日の「おやこであそぼう」はいかがでしたか？

初めての行事で職員一同、わくわくドキドキでしたが、お天気も良く、お陰様で子どもたちはもちろん、皆様と楽しい時間を共有することができました。ありがとうございました。

今後も「保護者の方々と共に」意見をいただきながら行事を進めていきたいと思っています。

どうぞ、アンケートにご協力ください。

さて、梅雨空けも間近に迫り、暑～い夏が到来します。今年は電力不足が見込まれます。

保育園としてエコ生活で何ができるか職員間で話し合いました。

\*使わない電気は消す…送迎の際少し暗いと感じられた際はつけていただき部屋を出られる際に消してください。

\*体温調節できるよう配慮しながら冷房を使用します。

\*ごみを減らし資源を大切に使います。

未来ある子供たちのために少しずつですが、考えていきたいです・・・

このかえでゆうびんも3号目になりました。ホームページからのプリントアウトしていただくよう

お願いしました。これもエコから導入しましたが、皆様ご覧になれていますか？

前月号でお願いしました、消耗品の寄付の募集もお知らせしましたがたくさん寄付いただきありがと

うございました。今後もよろしくお願いします。

引地 美津代

## りょうりのへやから



だんだんと暑くなり、初夏の日差しがうかがえる今日この頃となりました。

開園して約3か月、ランチルームは春に比べてより活気で満ち溢れ、毎日元気いっぱいの方が鳴り響いています。どの子どもたちも残さず、本当によく食べてくれるのでご飯を作っている立場としてはすごく作り甲斐を日々感じています。

最近のランチルームでは、お昼のバイキングでお当番を作り、日替わりでお当番の子どもたちがお昼ごはんの配膳を手伝ってくれています。どの子どもたちも積極的にお手伝いをしてくれていて、三角巾とエプロンをつけてお手伝いをする姿はすごく大人びて見え、頼もしい限りです！

そして、ごはんを食べるときには“いただきます”、終われば“ごちそうさま”のあいさつ。

このあいさつのできる子どもたちが多く、厨房をわざわざ覗いて直接私たちに声をかけてくれる子どもたちもいます。

本当に嬉しい限りです！

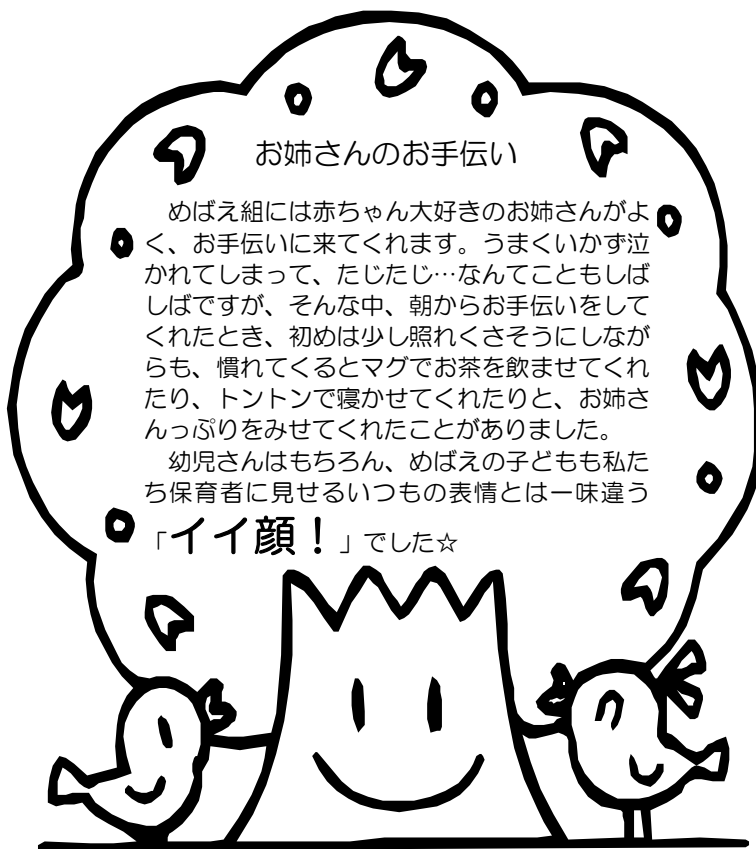
これからもこの元気な声を糧にしてよりいっそうおいしいお昼ご飯を提供していきますね！

これから夏本番になるとより暑くなっていきますが、かえで保育園の厨房として夏の衛生管理には十分に気を付けています。手洗いはもちろん、厨房内の設定温度、調理器具・食器の消毒、食材の十分な加熱処理、などで対策を行っています。子どもたちが安心して元気よく、おなかいっぱい食べ、暑い夏を乗り切っていけるよう衛生管理に十分に気を付けながら食事を提供していきます！

児嶋 亜季

# おねがい

- 暑い季節になり、こまめに着替えを行いますので、ロッカーに着替えの用意をお願いします。
- 7月29～30日はだいち組が園でお泊り保育を行います。  
職員全員でお泊り保育を企画していきますので、可能であれば、だいち組以外の方は29日（金）は早めのお迎えをお願いします。
- よいこネットの登録を任意でしていただいているかと思いますが、試験的に7月7日に行事の様子を配信させていただきますので、不具合がありましたら事務所までお申し出下さい。  
同意していただける方はそれまでに登録をお願いします。



にこにこ広場7月のテーマは「なつ」です

## 「ねずみくんのチョコキ」



なかえ よしを（作）

上野 紀子（絵）

ねずみくんのチョコキは私の好きな絵本の一つです。  
ねずみくんがチョコキを自分よりも大きな動物に貸していくお話です。チョコキが次の動物に貸していくたびにだんだん大きくなっていきます。大きくなっていくたびに「破れるかも？」「もっと大きくなるの？」といったドキドキを味わうことが出来ました。最後にはチョコキがある物に大変身します。

繰り返しの話なので、子どもたちも2・3度読んだ後には絵本の言葉を一緒に口ずさんでいて、次の展開がわかるからこそ、次のページを心待ちしているように感じました。

ねずみくんのお話は他にもたくさんあるのですが、どの話もねずみくんにとってはちょっと大変で困ったことも起こるけど、話の終わりには一件落着いて、気持ちよく終われる、そんなお話です。

中野 祐士



## 「いちねんめ」

阪神淡路大震災の時保育士一年目だった私が、かえで保育園で新たに保育士としてスタートしようとした今年の3月、東北大震災が起きました。規模や様々な問題はだいぶ異なりますが、当時のことを思い出し、連日流れるニュース映像を見ては胸を痛めていました。

まだ4ヶ月しか経っていない状況では何も落ち着いてはいないでしょう。実際、阪神大震災から16年経った今でもPTSDなどの心的なことも含めると全てが終了したとは思えません。

そんな時、私がよく見ているサイトで、糸井重里さんが運営している「ほぼ日刊イトイ新聞」の中で、「西條剛央さんの、すごいアイデア」というコンテンツを見ました。西條さんは学者なのですが、仙台にご実家があったこともあり、「ふんばろう東日本プロジェクト」(<http://fumbaro.org/>)を立ち上げた方です。

支援する側は“無理なく”行動をおこすことができ、“人と人をつなぎ”ながら“未来の見える支援”を行っていて、そのアイデア・方法は感動するものばかりです。

糸井さんとの対談の中で印象的だった言葉が、

◆「現地の状況はどうなっているのか、支援のために今、どういう方法をつくればいいのか。わからなくなったらそのふたつの間に立ち返るんです。」

◆「無理だとあきらめることはいつでもできる。被災者支援だけを見つめて“どうすればうまくそれを達成できるか”という問いだけを考えている」

◆「大変な日々の中でも“たのしみ”のようなものを見出すのが大事なことだ」という言葉でした。

内容は現地でのことや復興についてなのですが、私たちの日々の生活や保育にも当てはまることだな、と思ったのです。

かえで保育園が開園してから3ヶ月経ちましたが、まだまだ立ち止まって考えること、立ち返ることがたくさんあります。でも、その中でも子どもたちと一緒に楽しさ・うれしさを見出しながら日々過ごしていくことが大事なのだと改めて思いました。

そして先月の“おやこで遊ぼう”の行事でも、保護者の方と一緒に作り上げていくことで「かえで保育園」が形づくられていくうれしさを感じることができました。

これからもよろしく願いいたします！！

子どもたちのつばやき



花を手入れしているときに「あつい〜」「あつ〜い」というと

「かわいそうに・・・ここにはいり・・・」とかげをあけてくれました。

自転車で買い物に出かけるときに築山から手を振り

「お〜い！ えんちょうせんせい いってらっしやあ〜い！ きをつけてね〜 またきてね〜！」

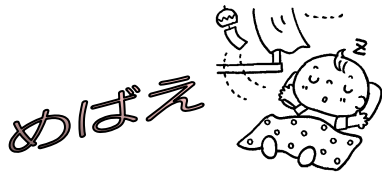
検診の後、ご挨拶は？・・・

「あ〜こんにちは・・・え？なんやったけ？ あそうや！ ありがと〜ごまいました・・・」

楽しくほっとする言葉です・・・



# 子どもたちの様子



蒸し暑く感じる日が多くなり、いよいよ夏がすぐそこまで近づいてきました。

さて、6月の子どもたちは、部屋で過ごすことも多かったのですが、部屋の中ではやっと歩けるようになって部屋の中をあちこち歩き回ったり、お気に入りのかごを持って、部屋の隅っこでござごとかごの中を確認したり、棚の陰から「ばぁ☆」と隠れたり出てきたりして遊んだりとそれぞれ好きな遊びを上手に見つけて遊んでいます。また、「にぎりぱっちり」というわらべうたをすると、手の中からふわふわと出てくる布の様子をじっと見つめ、「もう一回して」と言わんばかりに布を保育者に渡してくれ、大人とやり取りを楽しむ姿も見られるようになりました。

お部屋のレイアウトは生活空間と遊びの空間をゲートで分け、自由に遊べる空間と保育者と1対1でゆったりと関わる空間に分けました。

ごはんの時間と場所がわかり、ゲートを開けると椅子に座り、エプロンをつけようとて、食事に満足すると、ゲートを出てまた遊びが始まるなど、子どもたちの中に見通しがついてきていると感じられ、生活も定着してきました。

7月はどんどんと暑くなる季節、こまめに水分補給を行い、沐浴などをするこゝで、汗をかいても清潔に保っていけるように配慮しながら、子どもたちと水遊び、泥遊びなど、この季節ならではの遊びを思う存分楽しんでいきたいと考えています。

沖守 亜希子

## ふたば



園生活にもだいぶ慣れ、お友だち、先生の顔と名前が分かるようになってきたふたば組さん。「〇〇ちゃんはどこでしょう〜♪」の歌をうたうと、キョロキョロと探してその子をしっかりと指さし。可愛いなあと思いながら、子どもたちと楽しんでいます！

雨が降って、お外に出れなかった日にはランチルームで運動遊びやクレヨンを使ってなぐり描き等を行いました。なぐり描きは子どもたちも大好きで、集中して点をいくつも描いたりぐるぐるといっぱい丸を描いたり。できあがった作品をみてはとっても嬉しそうにしていました。

園庭に出れた際には、泥団子をつくってあげると、大事そうに持ち歩いている子、「おいしー！」と言って食べる真似をする子や、お友だちに作ってあげると様々な楽しみ方で遊んでいます。また、たらいやバケツに水をはってあげると、どんなに遠いところにも、駆け寄ってきてはシャベルやスコップでジャブジャブと水遊び！！子どもたちの顔にも、自然と笑顔が溢れます。

これから梅雨も明けてきて、ますます暑くなっていきますが、汗をたくさんかくことも体験しながら、水分補給や体温調節ができるよう配慮し、子どもたちと毎日過ごしていきたいと思ひます。

工藤 千尋

## つぼみ



日差しがだんだんと強くなり、今年も暑い夏がやってきたと感じる毎日ですが、子どもたちにとって、外で思いきり遊ぶことの出来る嬉しいお天気です♪雨の日には「お外行きたい～」と窓の外を眺めたり、お昼寝から起きると「雨、もう降ってない？」と外で遊べるのをとても楽しみにしています。

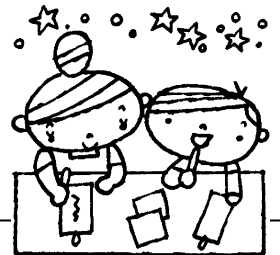
園庭へ出ると、ホースのシャワーをくぐりぬけ冷たい水を楽しむ子どもの笑い声や、よしずの陰では型抜きをしてごはんを作ったり、カップにお水を入れてジュースを作ったりおままごとがどんどん発展しています。幼児さんが捕まえたアゲハチョウやだんご虫を、不思議そうにじっと見つめる場面もありました。

入園から3ヵ月初めは慣れない環境に戸惑い、涙・涙の子どもたちも、様々なことが出来るようになりました。サーキットに参加したり、朝のお集まりで元気な返事が聞こえたり、安心してお昼寝が出来たり…、可愛い笑顔もたくさん見せてくれるようになり、日々の成長に驚きながらも、嬉しく思っています。

また、ロッカーをみて「これは？」（これは誰？）と何度も尋ねていた子どもたちでしたが、今では「〇〇ちゃんおやすみ？何で？」と休んでいるお友だちのことをおもう姿があります。お友だちとのかかわりが増えてきているつぼみ組さん。関わりたい気持ちを大切にしていきたいと思います。

河本 彩奈

## いぶき・ひかり・だいち



園庭の南側フェンス沿いにあさがおとひまわりの種をまいて1ヶ月。どんな芽が出るのか子どもたちと楽しみにしていたある日の朝、葉っぱに種の皮をつけた芽が出ているのを発見。「たねからはっぱがうまれたよ！！」と教えてくれました。花壇は園庭の土を掘って作ったものなので柵がないのですが、「ここはたねがあるからふんだらダメだよ」と子ども同士で声をかけ合っている姿も見られ、大切に見守ってきたので喜びも大きなものでした。また、日に日に大きくなるあさがおとひまわりを見て「いっぱいがんばっているね！」と子どもに言われ、その言葉を聞いて逆に私自身が励まされ、子どものつぶやきに元気をもらいました。

6月は雨が多かったですが、園庭にはだんご虫やてんとう虫などいろんな虫がいることに子どもたちが気づき、捕まえた虫は虫カゴに入れ、部屋に持ち帰って積み木で虫の家を作ったり、“育ててみたい”という興味から図鑑で育て方を調べたり、遊びが広がっています。虫がきっかけとなり、友だち同士の関係も深くなってきています。

7月はプールあそび、水あそびが中心になります。健康に過ごすためにはどうしたらいいか子どもたちと考えながら楽しく過ごしていきたいと思っています。

中川 奈津子